

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい青葉		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和7年2月18日 16時00分 ～ 16時15分	場所	オンライン
----	---------------------------	----	-------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	参加なし
■■■■■	地域住民の代表者	民生・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	自治会長
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	保健師

4. 活動状況報告

別紙(第3号様式)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

(事故について)

民生委員：

シートベルトについては外すタイミングが難しいと思う。子供と一緒にするわけではないが、待っててというのを待てない、どういう行動が出るかわからないということに注意していただければと思います。

看護師：

事故やヒヤリハットの報告がちゃんと細かいことでも検討されているのかなと思います。ちょっとしたことでも拾っていくことが大切なのかなと思いますので、引き続き続けていただければと思います。

包括：

誤薬事故について、(多機能型とグループホームという)施設ごとの違いが分かり、外国籍の方への配慮とかお仕事大変だと思います。引き続き頑張ってもらいたいと思います。

(年末年始のサービスについて)

包括：

年末はどこも締まっている中に施設で対応していただいて感謝している。
いつも真摯に対応されている誠実さが信頼につながっていると思う。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

- ①事故が起こらないような取り組みを続けていくが、起きてしまった事故についてはしっかり検討を継続していく。発表の表題にあったように「誤薬事故ゼロにむけて」取り組んでいく。
- ②運営推進会議を通じてサービスについてもご理解いただき、地域の方から施設利用などについてご相談をいただくことができおり、ありがたいと思います。

7. 地域からの情報提供

包括：

認知症カフェは来年度も同じような形で認知症の方に限らず参加できるような交流カフェを行う予定です。是非参加してください。

ほっと青葉：

老々介護を終わって、一人暮らしになってからの生活をどうしたらよいのか、という課題もあります。今後、介護者さんの集いのほかに、介護を終えて一人になった方の集いもしたいと思っておりますので、お声掛けさせていただきます。

8. その他特記事項

特になし

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい 青葉		
所在地	横浜市 青葉区 荏田1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(1月 31日現在)	女性 21 名		男性 7 名		計 28 名		
要介護度		要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	2 名	6 名	5 名	7 名	5 名
平均介護度	3.3						

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	14	0	28	
イ	18	10	1	
ウ	2	0	4	
エ	9	0	26	
オ	30	30	0	GH入所待ち
カ	17	6	22	
キ	17	0	34	
ク	7	0	18	
ケ	20	8	29	
コ	26	24	3	
サ	18	10	16	
シ	0	0	10	1/29自宅にてご逝去
ス	8	0	16	
セ	8	0	40	
ソ	9	0	18	
タ	8	0	20	
チ	22	18	9	
ツ	21	19	4	
テ	0	0	8	
ト	19	8	24	
ナ	28	26	3	
ニ	12	0	24	
ヌ	14	14	2	
ネ	1	0	2	
ノ	23	20	7	
ハ	19	8	24	1/7ケアプラザから紹介
ヒ	24	19	9	1/8ケアプラザから紹介
フ	9	0	18	1/14ケアプラザから紹介
ヘ				
平均	14	8	15	

*

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念:その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標:チャレンジ、成長、自律と自立
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・利用者様が何かやってみたいと思える環境づくり 【事業所と地域のかかわり】 ・地域と関わる機会を設ける(例:地域の行事にご利用様と参加) 【業務・職員について】 ・働きやすい環境づくり、業務効率化に向けてICTの活用 ・『その人らしく生きる』を意識し必要なケアを皆で考えるために 月1回のカンファレンス及びチームケアを行う。 ・スタッフの成長をサポート

5. 活動報告

○社内研修 ジョブメドレーアカデミー(eラーニング) 11月:「認知症及び認知症ケアに関わる研修」 12月:「事故発生又は再発防止に関する研修」 1月:「ターミナルケアに関する研修」 ・1月 嘔吐物処理訓練、高齢者施設における虐待防止に係る一斉点検の実施 ○行事 11月:あざみ野アートギャラリー美術レク 12月:クリスマス会 外食(くら寿司) * フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	事故・・・2件(内行政報告2件) ヒヤリハット・・・5件 ●事故報告 ①転倒 11月22日(23:30)他利用者の排泄介助中にセンサーが鳴り、訪室するとベッドサイドの床に座っていた。ベッド柵に額をぶつけた様子で赤くなっている。本人に確認すると「靴を探していた」とのこと。数時間前にベッドサイドに置いてあった靴を他利用者が持っていったのを、気にしていた。意識確認し、本人は「大丈夫」とのこと。翌日、腫れが広がったため病院受診する。経過観察の為2泊3日の入院。現在は退院している。 ②転倒 12月12日(5:50頃)トイレ介助中に他利用者に動きがあったので、本人に「待っていて下さい」と伝え、その場を離れた。その間に転倒したと思われる。職員がトイレに戻ると床にうつ伏せになっていた。出血あり。出血止らず、クリニックに報告、救急搬送の指示あり。ご家族に状況報告。7:00新都市脳神経外科病院に救急搬送する。ご家族が受診に立ち合い。眉間に2針縫い、事業所に戻る。 ●ヒヤリハット 5件 ①転倒・転落の危険性(2件) ②車いすの空気が抜けていた(1件) ③その他(2件)
改善策	事故① 【原因】トイレに行った直後だったので、起きるとは思わなかった。他利用者がベッドサイドの靴を持っていったのを気にしていた。靴は職員が回収し、元の位置に戻したがその後も気になっていたのかもしれない。 【対策】職員間で情報共有し、今後このような時には、本人に安心するまで何度か説明をする。 事故② 【原因】トイレで待っていられると思った。その際に対応した別の利用者は転倒リスクは少ないが行動予測ができないので早めに対応しようと思った。本人は転倒リスクがあるが、自身で歩こうとする。(介助時は手引き歩行で移動している) 【対策】夜間、複数の利用者に対応しなければならない時は、転倒などの事故に繋がりやすい利用者には特に注意する。

7. 地域への情報提供

2/26 避難訓練を予定
3/10にゆい青葉正面のコインパーキング閉鎖予定

8. その他特記事項

なし